

2024年11月6日

## お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J A たじまでは、「たじまに生きる たじまを活かす」をスローガンとしています。この言葉には、J A たじまが「但馬に根ざした活動を通して地域とともに発展していきたい」、「但馬にあるすべての人・自然・資源を生き活きとさせていきたい」という思いが込められています。

当 J A では、このスローガンのもと、地域に根ざす協同組合として、お客さま本位の業務運営の実践を図り、より一層お客さまに信頼される J A となることを目指して「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しています。

今回、本方針の取組状況をご確認いただくため、下記のとおり公表いたします。

また、上記とあわせ「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

たじま農業協同組合

# I.取組状況

## 1 お客さまへの最適な商品・サービスの提供

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- お客さまの知識・経験・財産の状況・取引目的等を踏まえ、ライフプランに応じた適切な商品・サービスの提供に努めました。
- 長期的で安定した資産形成のお役に立てるよう、税制優遇制度（NISA・iDeCo）の取り扱いを行うほか、商品数を絞ることで、厳選した投資信託をお客さまが迷うことなく選ぶことのできるラインナップ（JAバンクセレクトファンド）を提案しています。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。

### <投資信託の取扱い商品ラインナップ（2024年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	7 (前年度末：5)
株式型	4 (前年度末：4)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	8 (前年度末：8)	

### <商品選定の考え方>

(セレクトファンドの主な選定基準は以下のとおりです。)

1. 将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること  
(特定の投資テーマがある、いわゆる「テーマ型投信」など長期投資に向いていない商品ではないこと。なお、テーマ型投信であるかはJAバンクが判定)
2. 過去の運用実績が相対的に良好であること  
(長期投資の観点から、主に投資効率が良い商品であるかをJAバンクが評価)
3. 過去の運用成績の再現性が認められること  
(「過去の運用成績を今後も再現すると期待できるか」、といった点を踏まえ、投資信託の専門評価会社である野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社の協力を得て評価)
4. 手数料が良心的な水準であること  
(投資信託の費用の一つである「信託報酬」が各商品と同一ような分類の商品と比較して著しく高くないことをJAバンクが評価)
5. これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向け、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

※商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

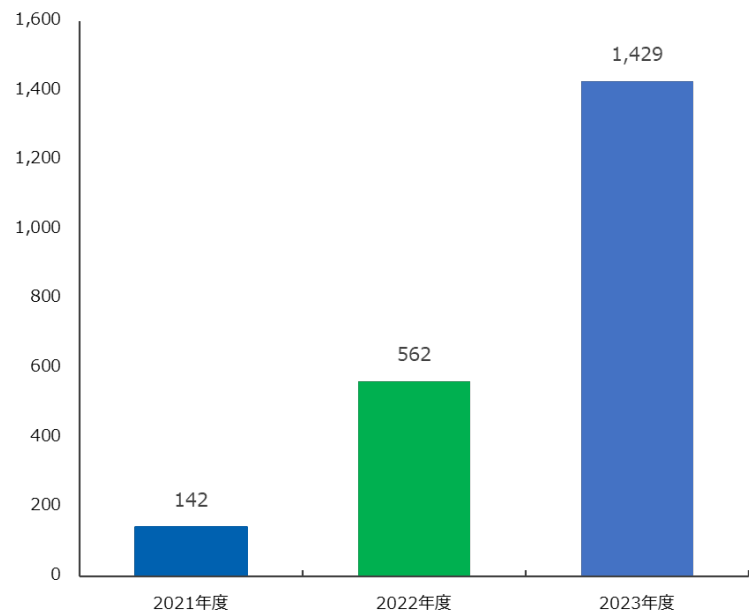
※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

# I.取組状況

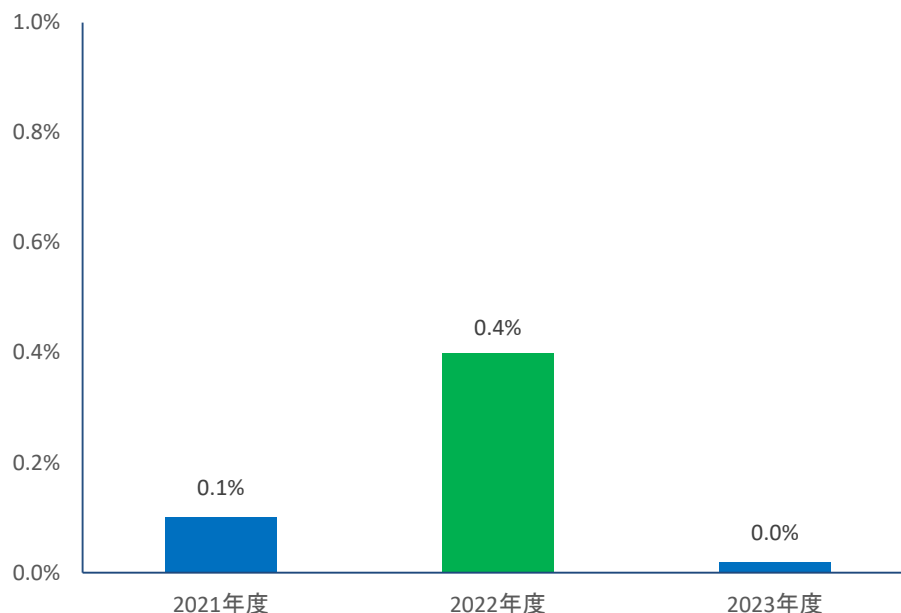
## 2 お客様本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客様が増加しました。また「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様は2023年度は減少しました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞  
(件)



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



# I.取組状況

## 2 お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- 商品の提案にあたっては、商品パンフレット・目論見書・重要情報シートで商品特性・リスク・手数料等の重要な情報について分かりやすく丁寧に説明するとともに、JAバンクが毎月作成する「月間マーケットレター」等の資料を用いて市況動向など、投資判断に必要な情報を幅広く提供することに努めています。
- 取り扱う投資信託の情報を一覧にした「JAバンクセレクトファンドマップ」を活用し、各投資信託の商品特性、リスク、運用実績、手数料等の情報を比較することで、お客さまの適正な投資判断に資するよう、簡潔かつ分かりやすい情報提供を行っています。
- ご高齢のお客さまには、原則としてご家族等の同席を求め、商品の理解度を確認しながら説明を行っています。また商品提案前には事前に審査を行うなど、より慎重な対応をとっています。
- 投資信託の販売後においても、投資環境やお客さまのニーズの変化等に応じ、面談や資料郵送等により適切なアフターフォローを実施しています。

# I.取組状況

## 3 利益相反の適切な管理【原則3本文および(注)】

- 当JAでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、コンプライアンス管理部署において適切に管理しています。また、毎年、モニタリングを実施し、厳正なチェックを行います。

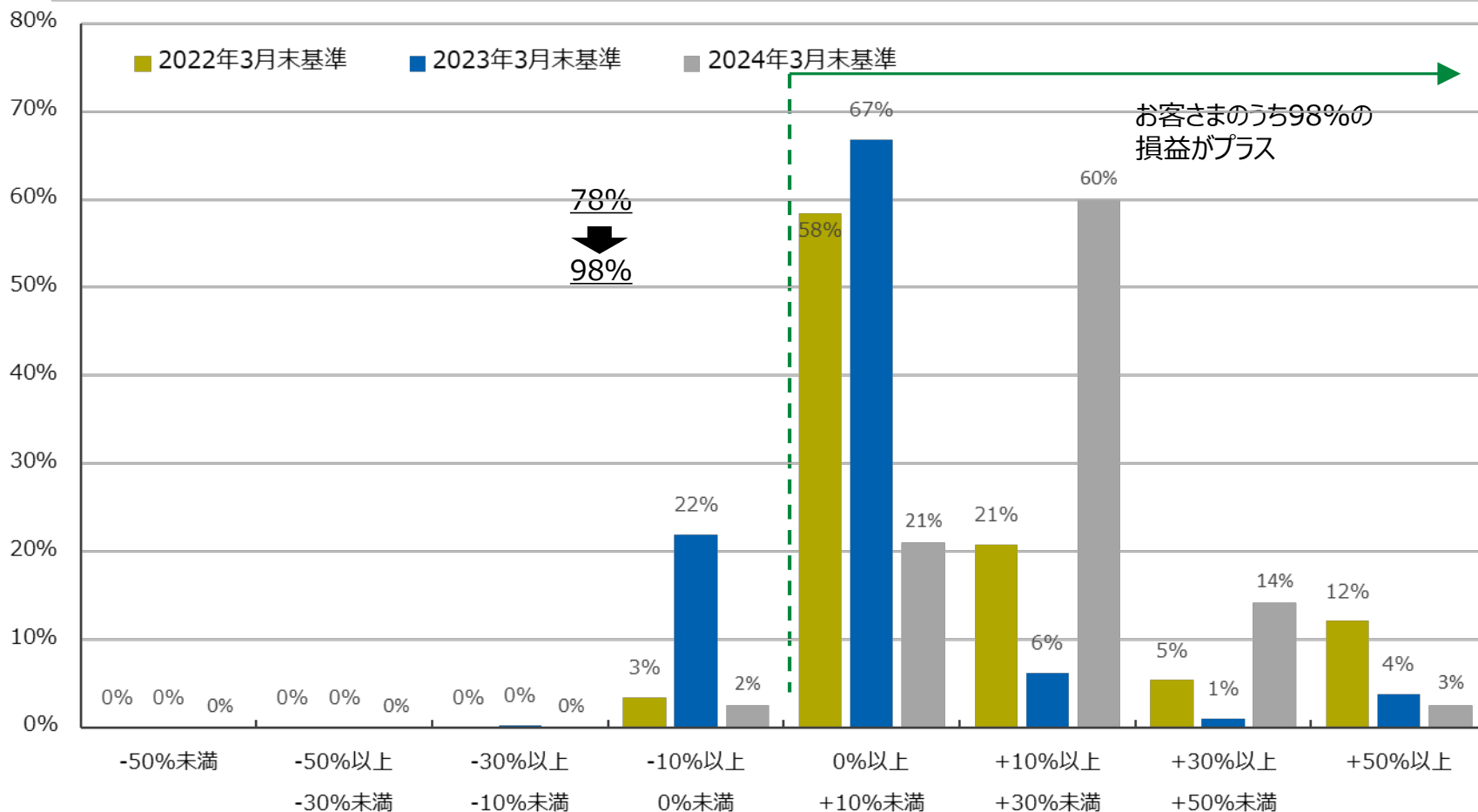
## 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築【原則2本文および(注)、原則6(注5)】 【原則7本文および(注)】

- 当JAでは、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、誠実・公正で高度な専門性を有する人材の育成に取り組んでいます。専門的な研修を継続して実施するとともに、通信教育や勉強会を通じてファイナンシャルプランナー（FP）等の資格取得を推進しました。  
ファイナンシャルプランナー資格保有者：AFP8名、FP1級1名、FP2級56名、FP3級87名  
(2024年3月末時点)
- 資産形成・資産運用の相談業務等に幅広く対応できる人材（CA＝コンサルティング・アドバイザー）を投資信託取扱い店舗に配置し、お客さまのライフステージに応じた適切なコンサルティング業務を実践するための態勢を構築しています。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の98%のお客さまの損益がプラスとなりました。

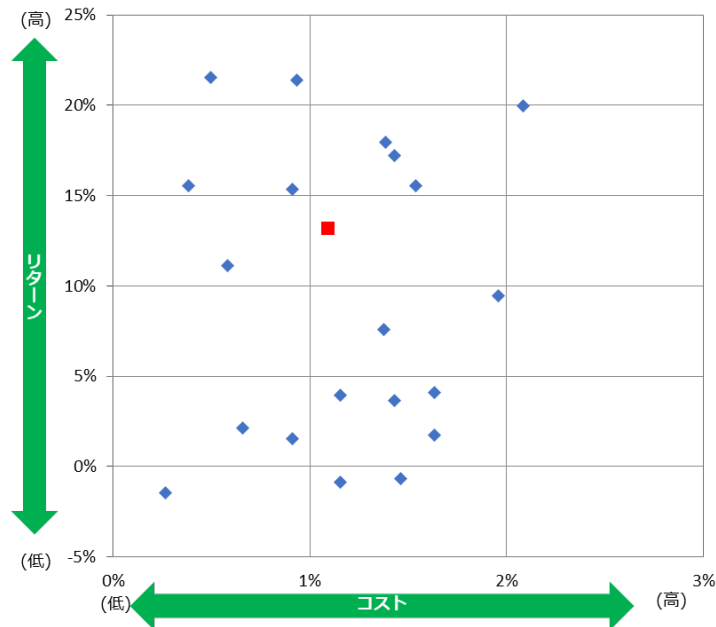


## Ⅱ.比較可能な共通K P I

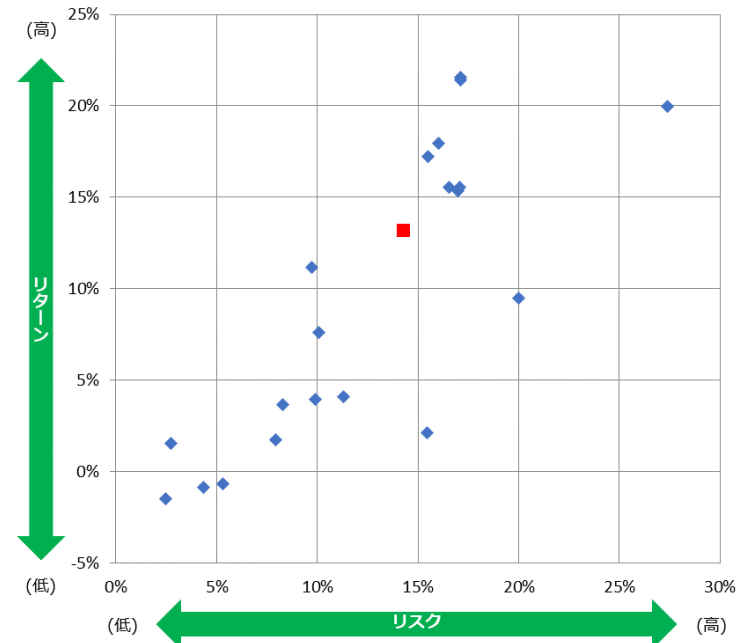
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.09%、平均リスク14.26%に対して、平均リターンは13.18%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



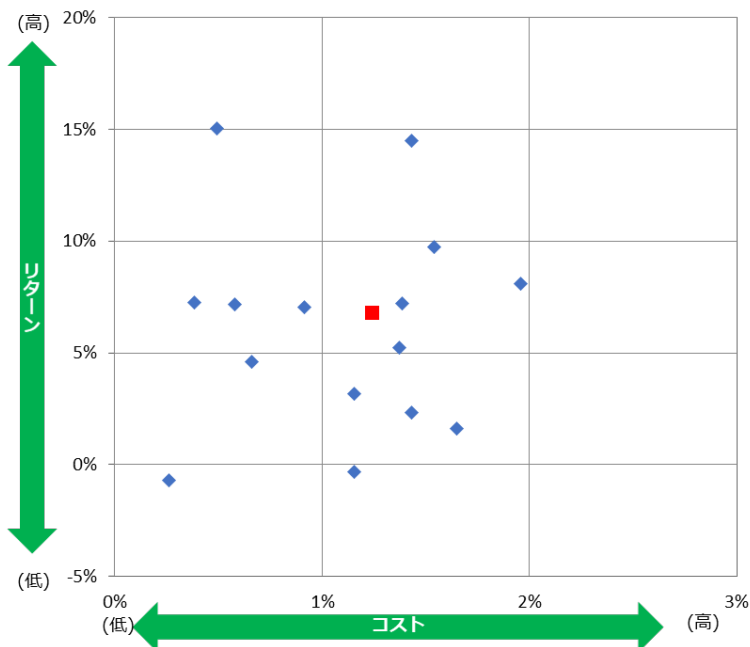
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

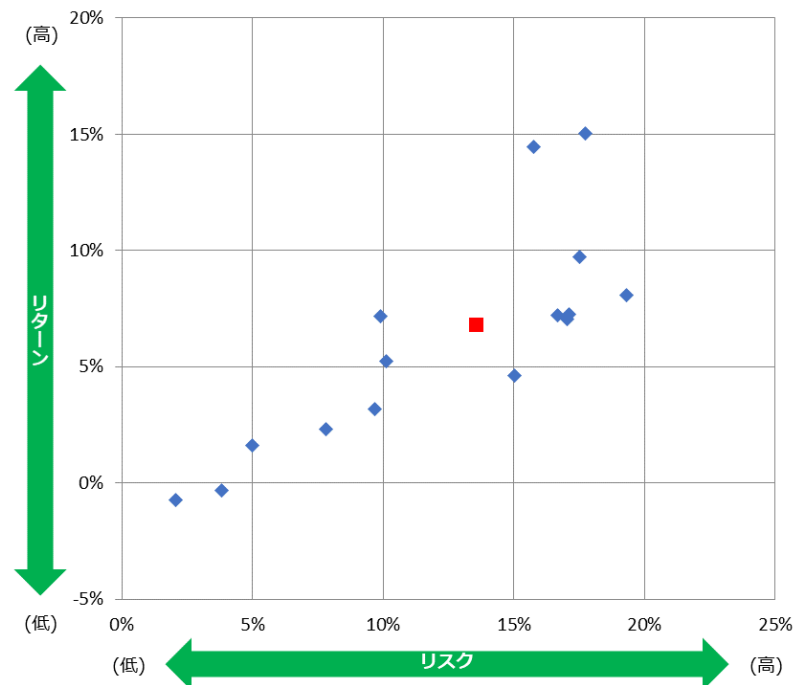
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.24%、平均リスク13.58%に対して、平均リターンは6.79%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

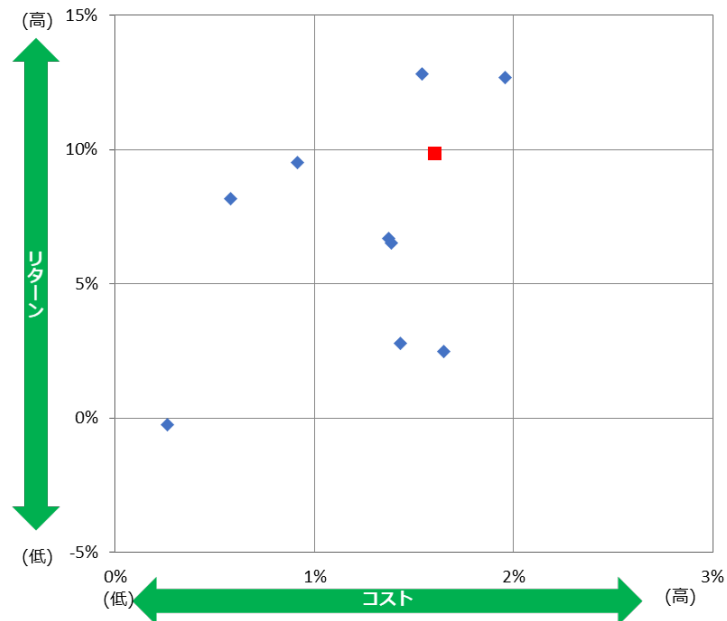


## Ⅱ.比較可能な共通K P I

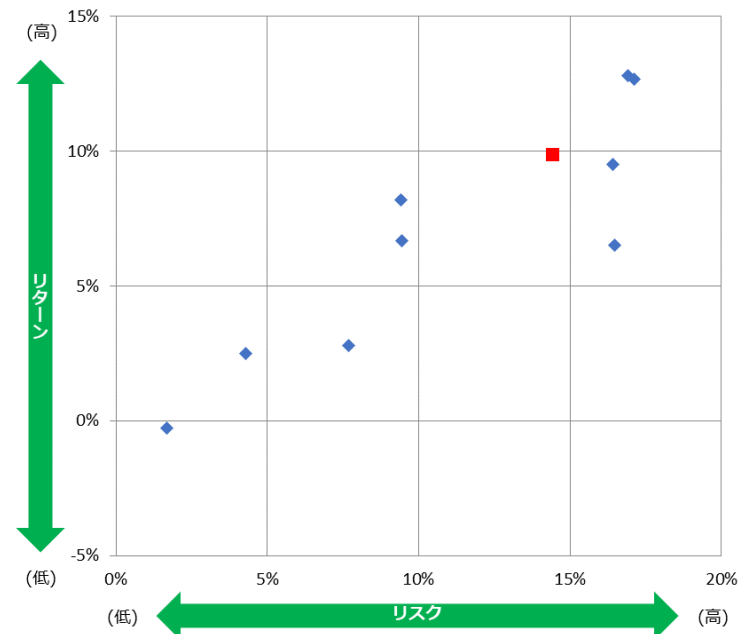
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.60%、平均リスク14.44%に対して、平均リターンは9.87%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
3	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
4	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
6	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
7	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
9	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
10	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
11	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
12	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	3.64%	8.31%	1.43%
13	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.95%	16.04%	1.39%
14	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
15	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
16	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
17	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
18	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
19	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.67%	5.31%	1.46%
20	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		13.18%	14.26%	1.09%

※ 2024年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.23%	10.14%	1.38%
3	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
5	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
6	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
7	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.31%	7.81%	1.43%
8	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.20%	16.67%	1.39%
9	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
10	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
11	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
12	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
13	JA海外債券ファンド(隔月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	1.59%	5.00%	1.65%
14	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
15	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.79%	13.58%	1.24%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は15本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
2	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
4	DIAMハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne(株)	2.80%	7.69%	1.43%
5	NZAM日本好配当株オープン3ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	6.52%	16.48%	1.39%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
8	JA海外債券ファンド(隔月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.49%	4.29%	1.65%
9	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.26%	1.70%	0.26%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.87%	14.44%	1.60%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。